

1. 最初イスラエルの国には、王様がおりませんでした。そこで、サウルという王様がたてられるようになりました。続いて、ダビデが王様になりました。
2. そして三代目の王様は、ソロモンという人でした。神様はソロモンに、素晴らしい知恵を与えました。誰よりも賢い知恵によって、ソロモンはイスラエルを豊かな国へと導いたのでした。
3. ある時、王様であるソロモンのところへ、二人の女の人がやってきました。困ったことが起きたので、ソロモンに解決してほしいと思ったのです。  
ソロモンは神様によって知恵が与えられていましたから、ソロモンを頼ってきたのですね。困った問題とは、こういうことでした。
4. **女1**「王様、この女は私の赤ちゃんを殺したんです！ 私とこの女は、同じ家の中に住んでいます。そして、二人ともそれぞれ赤ちゃんが生まれたんです。ところがこの女は、寝相が悪くて、寝ている間に自分の子供の上に乗っかっちゃったんです。それでこの女の子供は死んじゃいました。それで王様、ここからがこの女の恐ろしいところなんです。この女は、私が寝ている間に、死んじゃった自分の子供と、生きて私の子供を取り替えてしまったんです！」
5. **女2**「王様、この女の言うことはデタラメです！この女が自分の子供を殺したんです。そして私が寝ている間に、自分の死んだ子供と、私の可愛い赤ちゃんを取り替えてしまったのです・・・」
6. **ソロモン**「よし、私に良い考えがあるぞ。名案が浮かんだ！ 私に任せなさい。」

神様からの知恵をいただいていたソロモンの名案とは、どういうものだったのでしょうか？

7. **ソロモン**「(嬉しそうに)生きてる赤ん坊を真っ二つに切るのじゃ～！ そして半分ずつ持って帰れ。どうだ、名案だろう？ こんなに素晴らしい答えを出せる人はいないぞ～。  
さあ早速切ってしまう。どれ、わしが直々に切ってやろうじゃないか～。わっはっは～!!」
8. **女1**「さすが王様、頭いい～！ じゃ、早速切ってくださいな。私は半分持って帰りますわあ～。」
9. **女2**「王様、やめてください！ この子は間違いなく私の子ですけど、あの女のものになってもかまいません…。ですから、この子の命をとることだけはやめてください！！」

みんな、どっちが本当のお母さんだと思う？ 半分もらって帰ろうとした女の人かな？ それとも、たとえば他の人の子供となったとしても生きてほしいと願った女の人かな？

10. **ソロモン**「心の優しい女よ、お前こそが本当の母親だ。この子が本当に自分の子供であれば、半分にして良いなどと思うはずがない。さあ、自分の子供を出して、大事に育てなさい。」

**女2** 「王様、ありがとうございます！ 私、この子を大切に育てます。ありがとうございます！」

ソロモンは、神様からいただいた知恵によって、このように賢い王様として、国を導いていきました。そしてイスラエルは、歴史上もっとも豊かな時代を迎えたのでした。

11. 「主を畏れることは知恵の初め。」 箴言 1 : 7

本当の知恵って、なんでしょう？ それは神様を第一にすることです。

神様を第一とするなら、賢く生きることが出来るんですね。

私たちも神様を第一として、本当の知恵をいただいて生きていきましょう。

おしまい。